

- 1 13世紀初めに建国され、中央アジアまでを征服して大帝国を築いた人物は誰？
- 2 日蓮が人々の救いとなるとして唱えることを推奨した「南無妙法蓮華經」という言葉を何という？
- 3 鎌倉幕府を倒し、1334年から天皇中心の政治を復活させようとした天皇は誰？
- 4 鴨長明が著した『方丈記』のように、作者自身の見聞や感想などを自由な形式で書いた文章のジャンルを何という？
- 5 比叡山で修行を積んだ僧たちが鎌倉時代に開いた、新しい仏教の宗派の総称を何という？
- 6 十三世紀後半、モンゴル帝国から日本へ侵攻してきた軍隊を何という？
- 7 鎌倉時代に書かれた文学作品『方丈記』の著者は誰？
- 8 平氏の栄枯盛衰を描き、琵琶法師によって語り継がれた軍記物語を何という？
- 9 鎌倉時代後半、分割相続によって領地が細分化し、経済的に苦しくなった状態を何という？
- 10 鎌倉時代に国号を元と定め、日本への侵攻を命じたとされる君主は誰？
- 11 鎌倉時代、領地の細分化により生活が困窮した武士のことを何という？
- 12 鎌倉時代に東大寺南大門を再建し、大仏様の建築様式を取り入れた僧侶は誰？
- 13 鎌倉時代に日蓮が唱えた「題目を唱えるだけで救われる」という教えにより、支持を集めた対象となった人々を何という？
- 14 鴨長明が活躍し、古典文学が発展した時期を何という？
- 15 鎌倉幕府が、朝廷の動きを監視するために京都に設置した機関を何という？
- 16 元寇に備えて博多湾岸に築かれた「石築地」の別名を何という？
- 17 『枕草子』や『方丈記』と並び、日本文学における重要な3つの随筆をまとめて何という？
- 18 一遍が踊り念仏を通して信仰を広めた、浄土信仰の中心となる仏を何という？
- 19 13世紀初めにチンギス・ハーンがモンゴル高原を中心に建て、後にフビライ・ハーンが国号を元と改めた帝国を何という？
- 20 鎌倉幕府において、将軍が御家人に領地などを与えることを何という？
- 21 武士が主従関係において、自分の仕える相手のことを何という？
- 22 後鳥羽上皇が鎌倉幕府の打倒をめざして挙兵し、幕府軍に鎮圧された「承久の乱」が起こったのは何年？
- 23 武士の気風を反映し、写実的で力強い特徴を持つ、鎌倉時代に栄えた文化を何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	1206年にモンゴルの首長たちによってハン（指導者）に選ばれた <u>チンギス・ハン</u> は、騎馬軍団を率いて中央アジアへ進出しました。		<u>チンギス・ハン</u>	☐
2	日蓮は『法華経』の功德を信じ、その <u>題目</u> である「南無妙法蓮華経」と唱えることこそが、最も確実な救済の手段であると説きました。		<u>題目</u>	☐
3	<u>後醍醐天皇</u> は足利尊氏や新田義貞ら有力武士の協力を得て鎌倉幕府を滅ぼしました。		<u>後醍醐天皇</u>	☐
4	<u>随筆</u> は、特定の形式にとらわれず、著者が感じたことを素直に綴る形式です。		<u>随筆</u>	☐
5	これが <u>鎌倉新仏教</u> と呼ばれる一連の宗派です。		<u>鎌倉新仏教</u>	☐
6	<u>元軍</u> は、モンゴル人を中心に、支配下の漢人や高麗人などを加えた巨大な連合軍でした。		<u>元軍</u>	☐
7	<u>鴨長明</u> は、貴族社会から離れて隠遁生活を送った人物です。		<u>鴨長明</u>	☐
8	『 <u>平家物語</u> 』は、平氏一族の栄華から壇ノ浦での滅亡までを描いた文学作品です。		<u>平家物語</u>	☐
9	限られた土地からの収穫だけでは、幕府への奉公や軍役の準備、生活費を賄うことが困難になり、多くの御家人が借金をして苦しい生活を送るようになりました。		<u>困窮</u>	☐
10	第5代皇帝 <u>フビライ・ハン</u> は、領土拡大の一環として日本へ朝貢を求めました。		<u>フビライ・ハン</u>	☐
11	<u>御家人</u> は、将軍から先祖伝来の領地を安堵（保証）され、新しい土地を与えられる「御恩」を受ける代わりに、将軍のために戦う「軍役」や、京や鎌倉を警備する「番役」などの「奉公」を義務付けられていました。		<u>御家人</u>	☐
12	<u>重源</u> は朝廷や幕府の協力を得て、東大寺の再建という大事業を主導しました。		<u>重源</u>	☐
13	この分かりやすさと、社会の悪を鋭く批判する日蓮の態度は、日々の生活に苦しむ <u>民衆</u> に強く支持されました。		<u>民衆</u>	☐
14	この時代には、戦乱の不安や厳しい生活環境を背景に、無常観を温めた文学が発展しました。		<u>鎌倉時代</u>	☐
15	<u>六波羅探題</u> は、京都の六波羅に設置された鎌倉幕府の重要機関です。		<u>六波羅探題</u>	☐
16	<u>防塁</u> （石築地）は、博多湾岸に長さ約20kmにわたって築かれた石の壁です。		<u>防塁</u>	☐
17	『枕草子』（清少納言）、『方丈記』（鴨長明）、『徒然草』（吉田兼好）の3つを総称して「 <u>三大随筆</u> 」と呼びます。		<u>三大随筆</u>	☐
18	<u>阿弥陀仏</u> は、無限の寿命を持ち、すべての生き物を救う仏と信じられていました。		<u>阿弥陀仏</u>	☐
19	この <u>モンゴル帝国</u> は、東西の交通路を整備し、シルクロードを通じた交流を活性化させました。		<u>モンゴル帝国</u>	☐
20	「 <u>御恩</u> 」とは、幕府が御家人に対して本領安堵（先祖代々の領地の支配を認めること）や、新恩給与（新しく獲得した土地を与えること）を行うことです。		<u>御恩</u>	☐
21	<u>主君</u> は、鎌倉幕府においては将軍であり、家臣である御家人に対して領地の保護（御恩）を保証する存在です。		<u>主君</u>	☐
22	<u>1221年</u> 、後鳥羽上皇が中心となって起こしたのが承久の乱です。		<u>1221年</u>	☐
23	<u>鎌倉文化</u> は、武士の気風や、新しく起こった仏教の影響を受けています。		<u>鎌倉文化</u>	☐

言えなかった用語ノート